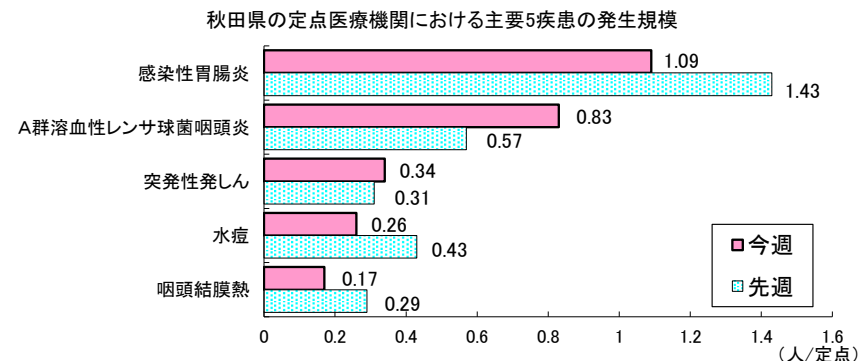




【第51週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. 感染性胃腸炎は、県全体で24%減少しています。保健所別では、能代、大仙で増加、横手で同規模、秋田市、大館、秋田中央、湯沢で減少しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で1.5倍に増加しています。保健所別では、秋田市、大館、秋田中央、横手で増加、由利本荘、大仙、湯沢で減少しています。
3. 突発性発しんは、県全体で1.1倍に増加しています。保健所別では、秋田市、由利本荘、大仙、湯沢で増加、大館、秋田中央、横手で減少しています。



発生報告

次回(第52週)の週報は、2021年1月6(水)に公表します。

< 五類定点対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第50週	第51週	増減	第50週	第51週	増減	第50週	第51週	増減	第50週	第51週	増減	第50週	第51週	増減	第50週	第51週	増減	第50週	第51週	増減	第50週	第51週	増減	第50週	第51週	増減			
RSウイルス感染症																														
インフルエンザ																														
咽頭結膜熱	0.29	0.17	↓	0.71	0.29	↓	0.25		↓							0.25	0.50	↑	0.25	0.25		0.25		↓				0.25	0.25	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.57	0.83	↑	1.29	1.86	↑	0.25	1.00	↑							1.00	1.75	↑	0.25		↓	1.00	0.50	↓		1.00	↑	0.25		↓
感染性胃腸炎	1.43	1.09	↓	2.14	1.57	↓	3.25	1.50	↓					2.33	↑	1.75	0.75	↓				0.75	1.00	↑	1.00	1.00		2.25	1.00	↓
水痘	0.43	0.26	↓		0.14	↑	2.00	1.50	↓	0.50	0.50					0.50		↓	0.75		↓	0.25	0.25							
手足口病	0.06	0.06		0.29	0.29																									
伝染性紅斑		0.03	↑																	0.25	↑									
突発性発しん	0.31	0.34	↑	0.29	0.57	↑	1.50	0.75	↓							0.25		↓	0.25	0.50	↑		0.50	↑	0.33		↓		0.25	↑
ヘルパンギーナ																														
流行性耳下腺炎	0.09	0.03	↓				0.25		↓							0.25	0.25					0.25		↓						
川崎病																														
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*											*	*	
流行性角結膜炎										*	*		*	*		*	*											*	*	
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎																*	*													
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎 (ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↑」は増加を、「↓」は減少していることを示します。

「\*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
- ・四類感染症のレジオネラ症が大館保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症のカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症が秋田市保健所管内から1人、梅毒が北秋田保健所管内から1人、秋田中央保健所管内から1人、報告されました。
- ・指定感染症の新型コロナウイルス感染症が秋田市保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患> (人)

類型	疾患名	1週-50週		51週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	16224	87	1
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
三類	コレラ	1		
	細菌性赤痢	86		
	腸管出血性大腸菌感染症	2994	98	
	腸チフス	21		
	パラチフス	7		
四類	E型肝炎	424	2	
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	117		
	エキノコックス症	21		
	黄熱			
	オウム病	5		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	15		
	キャサナル森林病			
	Q熱			
	狂犬病	1		
	コクシジオイデス症	6		
	サル痘			
	ジカウイルス感染症	1		
	重症熱性血小板減少症候群	77		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
ダニ媒介脳炎				
炭疽				

(人)

類型	疾患名	1週-50週		51週
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱	3		
	つつが虫病	387	8	
	デング熱	44		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	419		
	日本脳炎	5		
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	2		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症	4		
	マラリア	20		
	野兔病			
	ライム病	26		
	リッサウイルス感染症			
リフトバレー熱				
類鼻疽	1			
レジオネラ症	1970	13	1	
レプトスピラ症	16			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	582		
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	231	2	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1795	16	1
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	30		
	急性脳炎	467	4	
	クリプトスポリジウム症	6		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	141	2	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	715	4	
	後天性免疫不全症候群	1029	2	
	ジアルジア症	23		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	241		
	侵襲性髄膜炎菌感染症	14		
	侵襲性肺炎球菌感染症	1562	13	
	水痘(入院例に限る)	347	8	
	先天性風しん症候群	1		
	梅毒	5484	76	2
	播種性クリプトコックス症	145	2	
破傷風	104	1		
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症				
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	129	1		
百日咳	2893	10		
風しん	99			
麻しん	13			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	10			
指定	新型コロナウイルス感染症		94	1

トピック

<年末年始も感染防止策を徹底しましょう>

年末年始は、帰省などで人の移動や集まりが多くなります。今冬、インフルエンザの流行はこれまでのところみられていませんが、全国的に新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっています。人の移動に伴い、他の地域で流行している感染症が県内へ波及してくる可能性がありますので、感染防止策を徹底しましょう。

■注意が必要な感染経路

呼吸器系感染症の原因となる病原体は、咳やくしゃみの際に飛び散った飛沫を吸い込むことで感染します(飛沫感染)。また、病原体を含んだ飛沫は、人に直接吸い込まれるだけでなく、手すりなどに付着し、そこに触れた手指を介して口や鼻に運ばれる場合もあります(間接触感染)。

■予防対策

- ・混雑しているところでは、人と人の距離が近づくため飛沫感染が起こりやすくなります。できるだけ人混みは避けましょう。
- ・マスクの着用や咳エチケット(とっさの咳やくしゃみは、手ではなく袖や衣服の内側でカバーする)を心がけましょう。
- ・室内はこまめに換気すると共に、適度な湿度に保つようにしましょう。
- ・こまめに手洗いをしましょう。
- ・バランスの取れた食生活と十分な睡眠を取り、体調管理に努めましょう。

※秋田県では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、県民の皆様にも年末年始の感染防止策の徹底をお願いしています。

(参照)秋田県のホームページ:新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するためのお願い  
<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/49784>

【忘年会・新年会を予定されている方へ(2020.12.11付け内閣官房事務連絡より)】

忘年会・新年会で最も大切なことは、なるべく普段から一緒にいる人と少人数で開催することです。その上で、

- ・ガイドラインを遵守している飲食店を選ぶ。
- ・体調が悪い人は参加しない。
- ・座の配置は斜め向かい(正面や真横はなるべく避ける)。
- ・会話する時は必ずマスクを着用。
- ・短時間で、深酒やはしご酒などは控え、適度な酒量で。
- ・お猪口やコップは使い回さず、一人ひとり。

といった「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」をして頂くようお願いします。



**【注意報・警報の発生状況】**

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
水痘	-	大館(1.50)

■ 注意報・警報の定義

**【注意報・警報の定義】**

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		